

日常のお手入れ・保守

ストレーナ・網部分の清掃方法

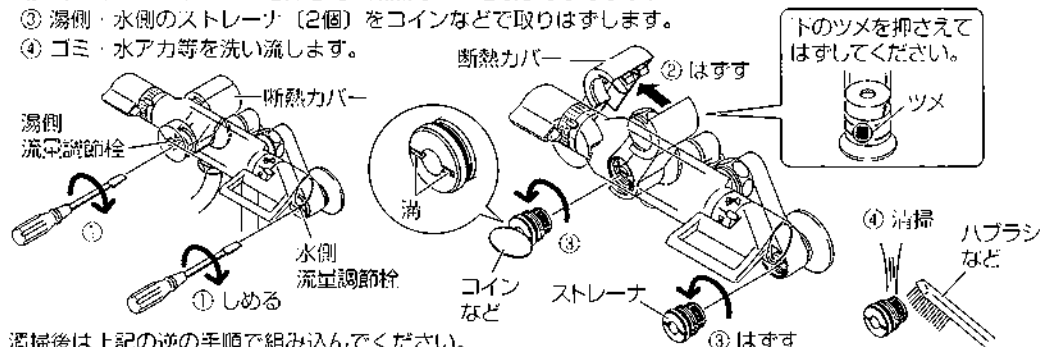
偏心管のストレーナ清掃

偏心管のストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

【△ 警告】・ストレーナの清掃は、流量調節栓又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

・湯側偏心管の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- ① 湯水の流量調節栓（2カ所）又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② 断熱カバーの下のツメを押さえ、断熱カバーを取りはずします。
- ③ 湯側・水側のストレーナ（2個）をコインなどで取りはずします。
- ④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

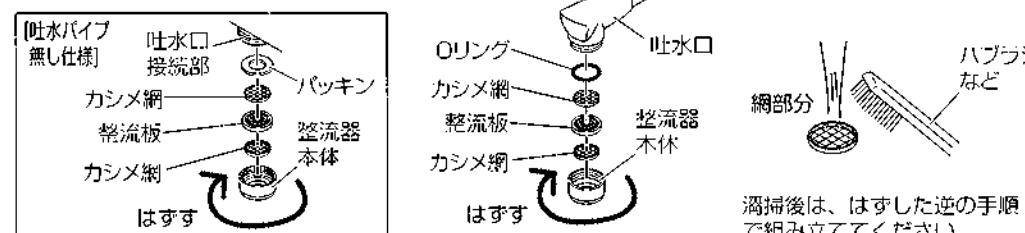


清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。
ストレーナを締め込む時、切替ハンドルを吐水口側にしてください。

吐水口の網部分清掃

吐水口の網部分がつまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

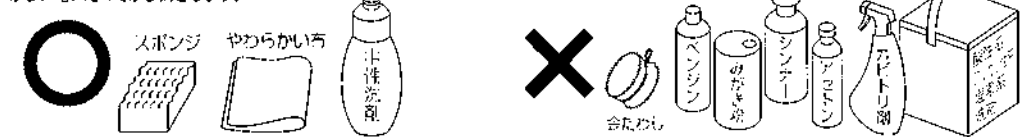
- ① 吐水口の逆流器本体をはずす方向にひねって、カシメ網・整流板を取りはずします。
- ② 網部分をブラシで水洗いします。



お手入れ方法

【軽い汚れの場合】
汚れは柔らかいスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】
中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。

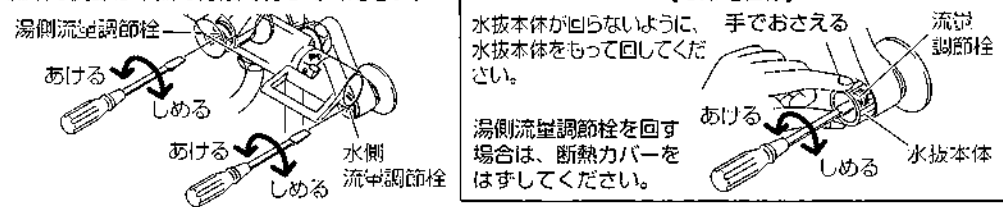


【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

5 ページ

流量の調節方法

流量の調節は下記の方法で行ってください。



温度調節ハンドルの設定方法

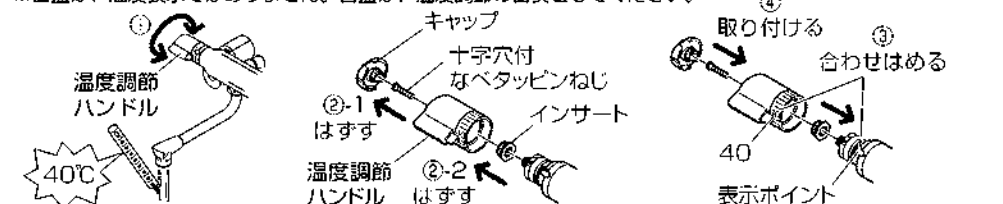
工場出荷時に温度調節をしています。取付現場の圧力状況により日盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルを合わせ直してください。

【はじめに確かめてください】

- ・流量調節栓を全開にしているか確かめてください。
- ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- ・給湯温度(60℃以上)の湯が給湯できているか確かめてください。 ※推奨温度は約60℃です。

- ① 全開吐水で自盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。
- ② キャップ・十字穴付なベタッピンねじをはずし、温度調節ハンドル・インサートを取りはずします。
- ③ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせはめます。
- ④ 十字穴付なベタッピンねじ・キャップを取り付けます。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの自盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。
※目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。



定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検を行ってください。

温度調節ハンドルの操作性（1ヶ月に1回程度）

【△ 注意】時々温度調節ハンドルをいっぱい回してください。温度調節ハンドルを長期間回さず使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

シャワー仕様の場合 【吐水ハンドルの操作性】
時々吐水切換ハンドルをいっぱい回してください。吐水切換ハンドルを長期間回さず使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水切換機能が損なわれるおそれがあります。

混合栓仕様の場合 【吐水ハンドルの操作性】
時々吐水切換ハンドルをいっぱい回してください。吐水切換ハンドルを長期間回さず使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水切換機能が損なわれるおそれがあります。

配管まわりからの水漏れ（1ヶ月に1回程度）

【△ 注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・磨耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

6 ページ

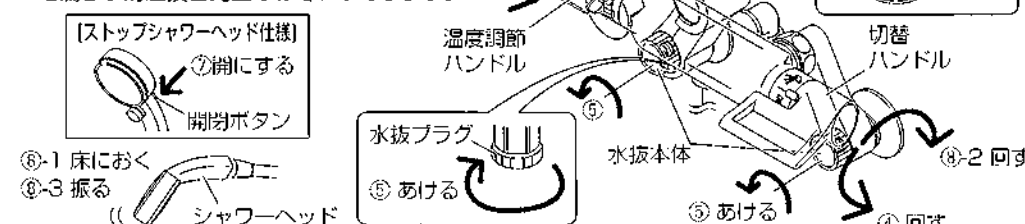
水抜き方法 <凍結が予想される場合>

【△ 注意】凍結が予想される場合は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

寒冷地仕様水栓の場合

器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操 作
①	①	元栓を開めます。
②	②	配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作)
③	③	断熱カバーの下のツメを押さえ、断熱カバーを取りはずします。
④	④	切替ハンドルを吐水口側にします。
⑤	⑤	水抜き栓（1カ所）と水抜本体（2カ所）を開けて水を抜きます。
⑥	⑥	温度調節ハンドルを「H」に引いて水を抜き、「C」に回して水を抜きます。
⑦	⑦	ストップシャワーヘッド仕様の場合 シャワーヘッドの開閉ボタンを開(吐水)にします。
⑧	⑧	シャワーヘッドを床におろし、切替ハンドルをシャワー側にします。 シャワーヘッドを握って中の水を抜きます。

【△ 警告】
・湯側偏心管の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。
・解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。
通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水抜き後 通水を再開する

【お願い】必ず水抜き栓とストレーナがしまっていることを確認して、吐水切換ハンドルを「止」の位置にしてから通水してください。
通水を再開しても水が出ない場合……吐水切換ハンドルを吐水口側にし、しばらくお待ちください。
これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

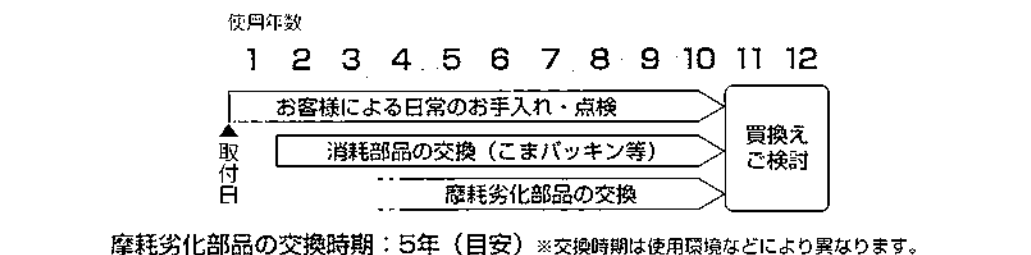
一般地仕様水栓の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。
・水栓より少量の水を出しておきます。 ・配管部などに布を巻きます。

【△ 警告】解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。
通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

7 ページ

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）



部品の交換

部品が磨耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。

●磨耗・劣化部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等

【△ 注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。（逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。逆止弁は仕様により付いていないものがあります）

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記のとおり確認してください。

現 象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	切替ハンドルは止水位置に合っていますか	切替ハンドルを止水位置に合わせる	4ページ 「止水切り方法」
吐水量が少ない (シャワーが弱い)	流量調節栓は十分に開いていますか	流量調節栓を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
高温しが出ない	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	5ページ 「ストレーナの清掃方法」
低温しが出ない	ガス給湯機との組合せでご使用の場合、給湯機側のものでは適正能力が設定されていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
温度調節がうまくできない	水側流量調節栓は十分に開いていますか	水側流量調節栓を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
湯水が飛び散る	湯側流量調節栓は十分に開いていますか	湯側流量調節栓を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
シャワーの水が熱くない	必要とする吐水温度より、給湯機の給湯温度を10℃以上上げる	—	—
湯水が熱くない	湯側・水側流量調節栓は十分に開いていますか	流量調節栓で流量を調節する	6ページ 「流量の調節方法」
湯水が熱くない	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
湯水が熱くない	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	5ページ 「ストレーナの清掃方法」
湯水が熱くない	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	6ページ 「給湯機の設定方法」
湯水が熱くない	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	5ページ 「ストレーナの清掃方法」
湯水が熱くない	熱源の温度を下げ、(約60℃)、水側流量調節栓をしめることにより、改善される場合があります	—	—

【△ 注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。

8 ページ